

ひきこもりから一步踏み出す時

心理カウンセラー招き講演会

ひきこもり当事者の家族や支援者でつくるNPO法人「KHJとちぎベリー会」は26日、心理カウンセラーの内田良子さんを講師に招いて23周年記念講演会「親子の関係修復のものがたり～心の扉を開き ひきこもりから一步を踏み出す時～」を開く。

内田さんは、不登校やひきこもりをめぐる問題に取り組むカウンセラーで、国内での草分け的な存

NPO法人 宇都宮で26日



内田良子さん
KHJとちぎベ
リー会提供

在だ。民間病院や都内複数の保健所の心理相談員を歴任し、1998年から子ども相談室「モモの部屋」を主宰。さまざまな親子と向き合ってきた。

会の発足23周年を記念する今回の講演会では、「社会や学校が抱える問題を鋭く指摘し、心や命を守るために必要なことは何かを、わかりやすい言葉で伝えてきた内田さんに初めて講師を依頼した」

(ベリー会)という。同会の阿久津久雄・副理事長は「当事者の立場に立つことを徹底している内田さんの言葉から、親も支援者も学ぶことが多いはず」と話す。

講演会は、とちぎ福祉プラザ(宇都宮市若草1の10の6)で午後1時半～4時。受講料は一般1500円で、ひきこもりの当事者は無料。定員100人(先着順)。問い合わせは阿久津さん(090・3900・5643)。申し込みはファクス(0282・86・4437)やメール(aku@sky.ucatv.ne.jp)、阿久津さんの携帯電話の番号にショートメール(SMS)で。(高橋淳)